



災害支援対策委員会

「災害支援対策委員会」

1. 構成員

1) 委員

鈴木志津枝（委員長、神戸市看護大学）

三澤寿美（東北福祉大学）、三橋睦子（久留米大学）、酒井明子（福井大学）

山崎達枝（東京医科大学）、臼井千津（愛知医科大学）、池田清子（神戸市看護大学）

山田覚（高知県立大学）、船橋香緒里（修文大学）

2) 協力者

なし

2. 趣旨

本委員会は、防災及び災害支援に関わる事業を行うにあたり、看護系大学の防災組織のあり方や広報、防災教育などの重要事項を協議し、本事業の円滑、適正な運営を図ることを目的として活動する。

3. 活動経過

1) 日本看護系大学協議会の会員校の各ブロックの担当者を決定

(1) ブロックの担当者

北海道・東北ブロック：三澤寿美委員

関東ブロック（東京地区）：山崎達枝委員

関東ブロック（北関東地区）：臼井千津委員

中部ブロック（北陸・信越地区）：酒井明子委員

中部ブロック（中部・東海地区）：船橋香緒里委員

関西・近畿ブロック：池田清子委員、鈴木志津枝委員

中国・四国ブロック：山田覚委員

九州・沖縄ブロック：三橋睦子委員

(2) 各ブロックの担当委員は、担当地区の状況の把握を行う。

2) 「防災マニュアル指針 2015」の見直しと内容の追加

防災マニュアル指針を作成した時点で、大学が被災することを想定していなかったが、2016年4月に発生した熊本地震では、教員や学生は自身が被災されたうえに、大学が被災し近隣の住民も大学に避難してこられたため、学生も教員もその対応にもあたる必要があった。このような状況を鑑み、「防災マニュアル指針 2015」に追加する内容を検討した。

検討した結果、「防災マニュアル指針 2015」に、『大学が被災した時に、被災大学の教員がブロック担当者にどのようなルートでどのような情報を発信し、どのように外部からのボランティアを受け入れるのか』を追加することとした。この目的を達成するために、看護系大学協議会の会員校にアンケート調査を実施し、結果に基づき「防災マニュアル指針 2015」に追加していく。

3) 熊本地震で被災された3大学への継続訪問と現在の状況把握

①九州看護福祉大学

調査日時：3月29日(水)10時～12時

調査担当委員：三橋睦子先生(久留米大学)

②熊本大学

調査日時：4月8日(土)9時30分～11時30分

調査担当委員：酒井明子先生(福井大学)

三橋睦子先生(久留米大学)

③熊本保健科学大学

調査日時：4月13日(木)13時～15時

調査担当委員：池田清子(神戸市看護大学)

三橋睦子先生(久留米大学)

4. 今後の課題

①「防災マニュアル指針2015」の改訂を行う。

②防災時に日本看護系大学協議会に所属する近隣大学との連携が取れるように、日本看護系大学協議会の会員校の各ブロックの連携体制づくりについて検討する。

③熊本地震で被災された3大学へ継続訪問し、地震後から現在に至るまでの状況把握に基づき、支援の在り方を検討する。

5. 資料

なし